

総合計画（特に「目指すまちのすがた」）を意識してもらうため、進捗管理シートの上部に配置します。

基本構想	
まちづくりの基本方針 3 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる [観光・交流]	
後期基本計画	
政策の柱 3-1	訪れたいくなるまちづくり
目指すまちのすがた	古き良き温泉場の魅力に加え、旬の観光やイベント情報が常に発信され、リピーターやファンを獲得しています。市民は地域に誇りを持ち、おもてなしを通じて来訪者との交流を図りながら、元気な地域コミュニティを形成しています。
主要施策	3) 関係人口の創出・拡大



単年度ごとPDCAを回していきます

例年、4月に作成します。

例年、2月～3月に作成します。

【令和4年度計画】

取組内容 | 移住定住促進の取組

【Action (改善)】 (昨年度の実績を踏まえ改善にむけた方向性)

・現在の主な移住促進施策は移住者への補助金交付となっているが、経費の肥大化を懸念し、移住者への支援を強化する。
A (前年度に導き出した方向性)

【Plan (計画)】 (Aを踏まえ、令和4年度の事業計画)

事業名 | 移住定住促進事業
 目的 | 市民と本市との縁のある人をターゲットに、郷土愛醸成がもたらす本市への移住定住を促進する。
 概要 | ・伊豆の国市が好きな伊豆の国市の風景など、郷土愛醸成施策が盛り込まれた「私の大好きな伊豆の国市」を制作し、ランキング企画を実施し、ランキング上位の伊豆の国市ファンを表彰する。また、伊豆の国市ファン向けのオリジナル新聞（仮）を制作し、「二十歳の集い」などで配布する。
P (上記のAを受け、その年の計画を立てる)

スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	アンケート設問の検討		実施・集計		新聞制作		結果公表・配布					

【実績】

【Do (取組状況) ⇒ Check (点検)】

・ほぼ計画どおり実施した。特にアンケートでは、SNSを活用した周知が功を奏し、多くの回答を得ることができた。また、結果をHP、広報紙で公開し、市民の関心を高め、地域の誇りを醸成した。
D (Dを示し、) → **C (自己点検をする)**

【Action (改善)】 (改善に向けた次年度の方針)

・これら取組が人口減少対策として、すぐに成果（人口減少抑制）が出ているものではないが、目指す姿「市民は地域に誇りを持ち、おもてなしを通じて来訪者との交流を図りながら、元気な地域コミュニティを形成する」に向かって寄与する施策であることから、今後も継続して実施していく必要がある。
(点検からA (次年度の方針) を導き出す)

前年度のAから

次年度のAへ